

2025年秋季号

発行日
11月16日

8月通常会議版

(会期: 8月26日~10月28日)

大津市御陵町3-1 (市役所内)

TEL: 077-528-2842

FAX: 077-524-5613

日本共産党

大津市会議員団 市会報告

ご意見・ご要望を
お寄せください。

info@otsu-jcp.net



HPをリニューアルしました。

議員のSNSもこちらから
確認できます。



市民の暮らしを 支える市政へ



市長に政策要望を手渡す市議団



主な要望

- 安心できる介護の保障と高齢者の暮らしを支える施策の強化を
- 保育の公的責任を果たし、就学前教育・保育の充実を
- 豊かな放課後を保障する児童クラブへ
- 成長・発達を保障する子育て支援へ体制の強化を
- 市民の移動権を保障する公共交通へ
- 市営住宅の整備とバリアフリー化の促進を
- プラスチックごみなど適正な処理と環境破壊を防ぐ取り組み強化を
- 災害時のペット同行避難への理解と、平時からの備えと啓発を

政策要望書の内容は
こちらからご覧いただけます



政策要望を
市に提出

党市議団は去る10月21日、

市の2026年度予算編成にあたり、物価高騰から市

民の暮らしを守り、
平和で希望のもてる
市政へ、199項目
の政策要望を提出し
ました。



大津市独自の
対策で
市民を守れ

今年は戦後80年の節目を
迎え、平和でこそ安全安心
の暮らしが実現できること
を再認識し、国の医療・介
護の公費抑制方針から市民
をめざすことを求めまし
た。

物価高騰が続くもと、維新と連立して発足した高市政権は、
国民が強く求める消費税減税には触れず、裏金問題は棚上げ
し、改憲や大軍拡、社会保障の切り捨てに邁進しようとしてい
ます。特に、維新が突然持ち出した国会議員定数の削減は、多
様な民意を切り捨てるだけでなく、議会による行政監視機能を
弱体化させ大変危険です。日本共産党市議団は、公の責任を果
し安心して暮らせる市政へ、8月通常会議に取り組み、来年度
予算編成にあたって政策要望を行いました。

国の制度改悪から 市民を守れ！

は、30年間賃金は上がらず、
年金は日減りし、消費税と
医療や介護の負担増が繰り
返されてきたことがあります。
政治が引き起こした人災と
もいうべき状況です。こう
した困難を開拓するには、部
分的な改善では足りず、暮
らしに関わる政策に大きな
転換が求められます。

2024
年 度

決算の認定に反対 すすむ公共サービスの産業化

市民の生活を支える予算である民生費は0.4%増
に留まった一方で、国スポのリハーサル大会など本
大会開催の準備経費が24.3%増となりました。また、賑わい創出として、民間企業による収益施設の
整備と一体で行う「パークPFI(民間資本による公
共施設運営)」手法の導入を進め、ラーゴ大津を中
心とした周辺の駐車場整備などに多額の予算が使
われました。

さらに、2024年11月から公共施設包括管理業務

が始まりました。これまで個別に行ってきた134の
公共施設の維持管理を一括して大手民間業者に任
せるもので、制度導入に際して地域の事業者から
は、仕事の確保に不安の声があがっていました。市
は、迅速で効果的な管理運営が行えるとしていま
したが、効果は認められず、高額なマネジメント経
費に加え、施設に対する職員の管理意識の低下に
繋がるものです。

47年連続の黒字計上の方、物価高騰のもとで
市民生活に寄り添った施策が展開されず、さらに公
共サービスの産業化がすすめられたことから、党市
議団は決算の認定に反対しました。

8月通常会議の議案

課題山積の 2議案に反対

待機児童が2年連続全国1位となる
もとで、「こども誰でも通園制度」
は、保育士不足にさらに拍車をかけ、
現場に負担をかけるうえ、子どもの安
全が保障されない制度です。また、夏
休み期間中の公立児童クラブ保育料
の値上げ案が提出されました。党市議
団はこの2つの条例改正案に反対をし
ました。

質問紹介

2025年8月通常会議

市民の暮らし安心の施策を求める論戦

※QRコードから大津市議会HPの動画をご覧いただけます。

柏木けい子 市議

大津市民病院の病床減らしにストップを



今、全国の病院の赤字が深刻です。このような折に国は「病床数適正化支援事業」と称し、赤字となっている病院が入院病床を減らせば、1ベッドにつき410万円余りを給付するという施策を打ち出しました。

コロナパンデミック時に36床のコロナ病床を確保し、3台のエクモを稼働して市民・県民の命を守ってきた大津市民病院の病床も、24床の削減が明らかになりました。コロナ禍では、病院に入院できず自宅や施設で命を落とした方が、県内で100人以上もおられたことから、今後の新興感染症に備えて、病床のゆとりは必要です。

柏木市議は、大津市民病院の病床を削減しないよう病院に求めるべきと質しました。

その他の質問項目

- ・子どもの居場所づくり
- ・大津市民活動センターの役割
- ・障がい者の後期高齢者医療制度の周知

市は 減らすのは休床中の病床の一部なので影響はない」と、コロナの教訓が生かされない答弁でした。

小島よしお 市議

市民の移動を保障する公共交通を

市内4社のバスの減便は、令和4年度40便、5年度70便、6年度80便、今年度は4月以降すでに120便が減便され、通勤・通学、買物、病院通いなど市民生活と地域経済に深刻な影響を及ぼしています。タクシー、バス業界ともに運転手不足、乗客数減少が背景とされています。また湖西線高架駅のエレベーターすら付いていない駅をも駅員を無人化するなど、乗客の安全や利便性が脅かされる事態となっています。

小島市議は、地域自治会等のボランティアや住民の寄付金頼みでは限界があり、市や行政が責任をもったコミュニティバス運行などで市民の移動を保障すべきとして質しました。

市は 有効性が高いとして、デマンド型乗り合いタクシーを運行しており、コミュニティバスの導入は考えていない等と答弁しました。

その他の質問項目

- ・都市公園・児童遊園地について

林まり 市議

持続可能な農業の推進へ

千葉県匝瑳市より
移住者の農作業の様子

今夏、生態系と調和した持続可能な農業として、ソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）で有機農業に取り組む生産者から、経験を伺いました。安定した売電収入も見込まれることから、有機農業に取り組む新規就農者のハードルを下げる事にもなり、パネルの配置によって遮光率が変えられ、収穫量にも影響はなく、夏場の高温対策にも適しているとのことです。

林市議は、提供いただいた写真を投影して紹介し、ソーラーシェアリングについての認識、本市での現状と普及に向けた取り組み等について質しました。

市は 市内での導入事例もあるとし、高額な初期投資や、許認可などの手続が複雑で時間を要する課題がある一方、所得向上への可能性のある取り組みであるとの認識は示し、国との議論等について注視していくとの答弁でした。

その他の質問項目

- ・「いのちのとりで裁判」の違憲判決
- ・学校給食の無償化

民意を反映した市議会へ

共産党提出の意見書案にすべて反対

「企業・団体献金の禁止を求める意見書」は、今年3月時点で全国16市が可決。「消費税率引き下げを求める意見書」は、9月時点で全国6市が可決。10月21日には、大阪市会で「最高裁判決に基づき全ての生活保護利用者に対する速やかな被害回復措置を求める意見書」が「全会一致」で可決しています。住民の切実な声を受け止める地方議会が増える中、共産党市議団が提出した意見書案6件は、反対多数ですべて否決されました。

内 容		日本共産党	新自民系会	湖自民系会	市民ネット	公明党	維新	廉自民系会	立自民系会	協民主系会	清正会	平和
意見書案	企業・団体献金の全面禁止を求める	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
	消費税5%以下への引き下げとインボイス制度の廃止を求める	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
	最高裁判決に基づき生活保護受給者への速やかな被害回復を求める	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○

○=賛成、×=反対



杉浦とも子

090-4491-1522



林まり

090-5045-2490



柏木けい子

090-1919-5298



小島よしお

090-5058-2832